

地域史料の防災チェックリスト

防災は日常の管理から！！（平時の管理が緊急時につながります）

（１）保管場所	チェック欄
① 庁舎内・外における地域史料の保管場所を全て把握できているか	
② 万が一、自然災害が起きたときの被害を想定できているか	
③ 保管場所周辺の道路状況などを把握しているか	
④ 管内の史料所蔵者と史料の所在地や保管場所を把握しているか	

（２）保管施設	チェック欄
① 書架などは、床などにしっかり固定され転倒対策がしてあるか	
② 文書は、落下・転倒しないように収納されているか	
③ 室内に雨漏り、しみなどはないか	
④ 停電時に即対応ができる準備がされているか（懐中電灯の配置など）	
⑤ 非常口など、避難・搬出経路の確保ができていないか	

（３）バックアップ（デジタル化・二次資料化）	チェック欄
① データのバックアップは複数作成され、別置しているか	
② バックアップデータの保存場所は把握できているか	

◎緊急時の電話番号
消防署
警察署
電力会社
警備会社
水道業者

◎常備の電話番号
文化財担当者
防災担当者
文書館
文化財センター
その他必要な連絡先

- ★安全第一。緊急警報が出たら建物からすぐ避難すること！
- ★国際アーカイブズの日（6月9日）はチェックの日！！

確認日